



出前授業とは！女性研究者が高校や大学などを訪問し、自身の研究内容や経歴について講演をおこない、研究の魅力を伝えると共に女子学生に研究者という職業に興味を持ってもらおうという取り組みです。

■茨城県立水戸第二高等学校へ出前授業に行ってきました。



11月16日に生物生態機能研究領域の篠崎さんが茨城県立水戸第二高等学校で、『役に立つ微生物みつけます～水戸二高卒業後、研究者を目指した道のり～』と題して出前授業を行いました。集まった22名の2年生に、大学院修士課程・博士課程を経て自身が研究者になった経緯や農環研での研究内容と同僚たちの仕事ぶり、研究と子育ての両立等について紹介しました。

終了後に行ったアンケートでは、研究に対する興味が高まった、大学卒業から修士や博士などを経て研究者になる過程がよく分かった、研究者という職業に興味を持った、といった感想が寄せられました。

＜篠崎さんのコメント＞

将来、研究職を考えているという生徒は、特に真剣に話を聞いてくれたように感じました。授業の後半では、現在行っている研究の紹介のためプラスチックを酵素で分解する様子を観察してもらいましたが、興味を持ってもらえたようでうれしく思います。

生徒さんが高校生という早い時期から将来のことを考えている姿には感銘を受けました。今後の活躍が楽しみです。後輩たちをがっかりさせないよう、私もがんばっていきたいと思います。今回の経験は私にとっても大変よい刺激となりました。



News Letter

1月
出前授業に
行ってきました号



2012.1.18